

特別展示

越境する職人の技

2016

5/31(火)

6/26(日)

主催 砂丘館

月曜休館

観覧無料

9:00-21:00

会期中の催し

ワークショップ 蒔絵を体験する

6月18日(土) 14:00~16:00

紙芝居屋さんがやって来る

昭和のなつかし、おもしろ街頭紙芝居

6月19日(日) 14:00~16:00

*詳細は裏面

漆山昌志

石工

村山雨景

染師

春日美雪

蒔絵師

山田敏昌

表具師

小林義一郎

大工

変貌する時代環境のなかで
旧来の枠を越え
その技を用い、生かす、新潟の職人たち

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

旧齋藤家別邸で村山雨景展が開催されるのをきっかけに、連携企画として、新潟県の5人の職人を紹介する展示を企画しました。

村山雨景は京都で友禅染を学びますが、故郷・十日町の着物産業の一歯車である職人の地位に不満を覚え、展覧会(個展)という形で発表する道を選びます。氏の道程を、美術が作り出した社会的回路を使って職人として生きる道の模索しようとする試みだったのではないかととらえ、「越境」の言葉でそれを表してみると、同じ言葉から、何人かの、それぞれの流儀や事情で「越境」を行っている職人たちの姿が浮かびました。

漆山昌志の石像に出会ったのは、二十年以上も前、今はない出湯温泉の旅館「石水亭」の庭でのことです。出湯近辺に多い古い石仏のように見えたものの、仏像たるべき持物(じもつ)も印相もない、頬に手を付き、目をつぶっているシンプルな姿に心が動きました。墓石や仏像も彫る石工の、きまりごとから離れた、ささやかな越境です。

山田敏昌は新潟の表具師です。現代美術に関心をもつクライアントの書の表具を手掛ける仕事を通じて「遊ぶ」楽しさを吸収し、姫路の詩人羊歯三郎がさまざまに「風」一字を書いた

百点以上を筆者から預けられ、それらを自由に表具し、「傾(かぶ)き」感覚にあふれたユニークな掛け軸の数々を制作しました。

小林義一郎は新潟市西蒲区の木工です。現代美術に関心を持ち、自ら作品も購入。建築する住宅にも、家に飾る作品の提案をし、各地で新聞紙エアドームのワークショップを行うなどの多彩な活動を展開しています。昨年は三条での美術グループ展に参加し、木の力を知る木工ならではの、椅子や台や机を出品しました。家具職人やデザイナーの家具とはいく味も違う、大工感覚で作られたモノに強い印象を受けました。

春日美雪は三条仏壇の蒔絵を手掛ける職人です。時代の変化によって仏壇の需要が少なくなったこともあり、お盆や篠笛やCDや印鑑ケースなどさまざまなものに蒔絵を施すようになりました。表現という側面からではありませんが、これもまた越境の一つの姿と言えるでしょう。三条ものづくり学校で、手軽に蒔絵を体験できるワークショップも手がけ、職人の技の世界に親しんでもらう試みも行っています。

大倉宏(美術評論家・砂丘館館長)

漆山昌志(うるしやま まさし)
1955年安田町(現阿賀野市)生まれ。愛知県岡崎市で石工修業。88年から県展、芸展に石彫を出品。2000年二科展特選受賞。04年十日町石彫シンポジウムに参加。二科会会友、新潟県美術家連盟会員。

春日美雪(かすが みゆき)
1957年燕市(旧吉田町)生まれ。木村嘉造に仏壇蒔絵を師事。仕事の合間に三条・燕・西蒲仏壇組合員ともに小中高校、大人の体験教室で活動。2006年三条仏壇蒔絵部門伝統工芸士になる。

小林義一郎(こばやし ぎいちろう)
1980年佐渡島生まれ。15歳で大工職人として建築の世界へ入り、2008年建築設計事務所設立し、世界を訪れながら各地の文化や自然に触れ独学で建築芸術について学ぶ。「情熱と静寂」をコンセプトに、伝統の業と現代の建築、暮らしの新しい可能性を追求している。

村山雨景(むらやま うけい)
1947年十日町生まれ。幼少より父母の手織りと染色を見て育ち、後京都で修業。本友禅と手描きろうけつ染めの技術を学ぶ。1982年から長岡に工房を構え、独自の技法を開発し、日本各地で発表を行う。

山田敏昌(やまだ としまさ)
1940年新潟市生まれ。伝統に裏付けされた表具に情熱をかけ、神社、寺院の修復も多数手掛ける。創作表具にも熱中。2002、04年羊歯三郎の「風」の書を多彩に表具した軸作品を中心に、新潟絵屋で個展開催。

会期中の催し

ワークショップ 蒔絵を体験する

漆(カシューを使用)で絵を描き、乾く前に金粉や銀粉を上から蒔き描く蒔絵を体験します。

6月18日(土) 14:00~16:00

参加料500円+材料費(1200円~)

定員20人(要予約)

講師 春日美雪

申し込み 電話・ファックス 025-222-2676

またはEメール sakyukan@bz03.plala.or.jp

*Eメール、ファックスでお申し込みの場合は連絡先(電話番号)人数を併記して下さい。

予約開始5月27日

紙芝居屋さんがやって来る

昭和のなつかし、おもしろ街頭紙芝居
<紙芝居・なぞなぞ(とんち)・駄菓子>

口演: じゃんぼ

6月19日(日) 14:00~16:00

参加料500円(駄菓子代は別途)

*予約不要 時間中出入り自由



じゃんぼさんから駄菓子をいっぱい乗せた自転車こぎこぎ、昔ながらの街頭紙芝居を今もやっています。世界唯一の絵元大阪の三邑会(現在塩崎おとぎ紙芝居博物館)から毎月いろいろ「ほんまもん紙芝居」を借りて口演しています。

同時期開催

手描き友禅とろうけつ染めによる職人絵の世界
村山雨景展 神々を染める

2016年5月31日(火)~6月26日(日)
月曜休館 9:30~18:00

旧齋藤家別邸 新潟市中央区西大畑町576番地
電話 025-210-8350

観覧料 一般300円

小・中学生100円(土・日・祝は無料)
主催 旧齋藤家別邸

■村山雨景ギャラリートーク

6月5日(日) 13:30~14:30

参加無料(旧齋藤家別邸の観覧料が必要です)

会場 旧齋藤家別邸一階大広間

砂丘館

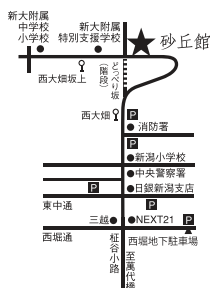
旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax. 025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。

●新潟駅からのバス: 浜浦町線 C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分

●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券掲示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

新潟県 株式会社

NSGグループ

株式会社 ナレッジライフ

新潟ビルサービス

丸屋本店

藤田金属

郷土の文化に親しむ会